

東建パブリニュース

2020年2月17日

経営管理本部 広報IR室

《このニュースは、当社に関連する記事が掲載された新聞・雑誌等の情報を逐次、速報するものです。》

掲載 2020年2月4日 山陰経済ウイークリー P.11

●当社に関する記事の掲載がありましたので、以下の通りご報告いたします。



木製品製造の生産ラインを改良したナスラック
出雲ダントニ工場＝出雲市長浜町

少量多品種対応へ生産ライン改良

ナスラック出雲ダントニ工場



少量多品種対応に向けて改良したダントニ出雲工場の生産ライン＝出雲市長浜町

出雲市の長浜工業団地内にあるナスラック(株)(名古屋市中区、左右田鑑穂会長)の出雲ダントニ工場(出雲市長浜町)が、室内建具・家具などを製造する生産ラインを少量多品種対応に改良した。設備投資額は2千万円。

室内建具や
家具など製造

2千万円掛けU字型に

テリアとして扉など建具や収納家具を単品種から少量多品種に対応する必要に迫られていた。

材料投入、カット、プレス、金属加工、金具加工、最終検査と長さ86㎝で一直線だった生産ラインをU字型に変更。必要な材料投入、カットの最初の工程と、完成した製品を受け取り、検査する最後の工程が隣り合うようにすることで作業員が業務量に応じて補充し合えるようにした。

また、U字の折り返し部分では、複雑なデザインや加工が必要な部材を生産ラインからいったん外して、近くに設置した別のラインで作業できるようにし、生産ライン全体が停滞することをなくした。

これまでのラインでは、異なる品種を投入すると加工時間の差が発生するため、ラインが停滞し、効率が悪くなっていた。今回の改良で作業員の有効活用につなげ、生産効率も30%アップできるといふ。年明けから稼働した。

出

雲ダントニ工場は、東証1部上場の総合建設業・東建コーポレーション(株)の100%出資の子会社・ナスラック(株)の運営で、グループが受注するマンションやアパートの室内ドアや各種収納など木製建具・家具を中心に製造し、年商30億4千万円。室内ドアなど年1万5千戸分を生産しており、従業員は64人。マンションやアパートのデザイン性が高まり、室内イン